

## 1月の天候

2021年（令和3年）1月の日本の天候は、全国的に気温は上旬は低く、下旬は高く、気温の変化が大きくなりました。東日本日本海側では降水量はかなり多く、記録的な大雪となった所もありました。西日本日本海側では日照時間はかなり多くなりました。

2021年（令和3年）1月の天候の特徴は以下のとおりです。

○全国的に気温は上旬は低く、下旬は高く、気温の変化が大きくなりました  
日本付近には上旬を中心に強い寒気が流れ込み、旬平均気温は全国的に低く、北・西日本と沖縄・奄美はかなり低くなりました。一方で下旬は、寒気の影響を受けにくかったため、全国的に高く、東・西日本ではかなり高くなり、月の前半から後半にかけての気温の変化が大きくなりました。

○東日本日本海側では降水量はかなり多く、記録的な大雪となった所もありました  
上旬を中心に日本付近は冬型の気圧配置となる日が多く、強い寒気が南下して東日本日本海側を中心に各地で大雪となり、記録的な大雪となった所もありました。このため、東日本日本海側では月降水量がかなり多く、月降雪量が多く、西日本日本海側で降雪量がかなり多くなりました。

○西日本日本海側では日照時間はかなり多くなりました  
西日本日本海側では、中旬を中心に高気圧に覆われやすかったため、月間日照時間はかなり多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:653KB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202101\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202101_besshi.pdf)

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井(観測値や記録について)  
電話 03-6758-3900 (内線 4277) FAX 03-3434-9035  
大気海洋部 気候情報課 担当 中三川(天候の解説について)  
電話 03-6758-3900 (内線 4547) FAX 03-3434-9123